

まぐろから見える世界

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構顧問 原田雄一郎



29

近年、巻網漁業による漁獲量は、その漁獲能力の増加に伴って、急速に増加を続け、今や、世界のカツオ・マグロ類の漁獲量の60%を超える水準に達している。(中西部太平洋での巻網漁獲量は、1991年99万3000トンが、2011年には154万3000トンへ

大型巻網の増加に歯止めなるか

来年に期待、一歩前進のWCPFC

—中西部太平洋まぐろ類委員会・WCPFCデータ)。集魚装置(F

規制の強化も資源管理の抱える大きな課題となっている。

◆進まない過剰漁獲対策◆

マグロ資源を持続的に利用するためには、巻網漁船の過剰な漁獲

続けているとの情報も多。まぐろ漁業開発プロジェクトにも取り組んでいる。計画は、5億米ドルを資金とし、300万の水揚げ埠頭とマグロ加工工場を建設する。

◆抑制困難な途上国の建造◆

最近入手した情報では、ベトナムのピリウ造船所が2隻の大型巻網漁船を、2015年早々にフランスの大手漁業会社に引き渡す予定で、建造を始めた。この網漁船を、2015年船の建造を見込んで、周知の事

◆鍵握る先進国の姿勢◆

そんな状況の中で、12月6日に終了した中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)の年次会合は、注目に値する決議を採択した。「来年の年次会合までに、大型巻網漁船の過剰な漁獲能力を削減する仕組みを先進国が作る」と決めた。また、「先進国は、大型巻網漁船の

(毎月1回掲載)